

学校だより

翔 空

No. 3 平成23年 4月26日(火)
郡山市立喜久田中学校長 川島 宏

「翔空」の由来

校舎のシンボル

壁画「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え、限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。



保護者会総会

4月22日(金)授業参観・総会・学年懇談会が開催されました。多くの保護者の方々に来校いただき、本校のありのままの姿を見ていただきました。いかがでしたか。

新役員紹介

◎PTA会長 今泉 豊作
(3-2 恵)

○PTA副会長 國分 一史 (2-2 裕史)

石井 澄子 (3-2 秀史)

佐藤由美子 (3-3 潤)

二瓶 光子 (教頭)

○会計監査 佐藤 文男 (2-1 匠)

添田 信一 (3-3 笑理)

渡辺 健一 (1-1 和真)

渡邊 守 (1-2 直弥)

三瓶 勝義 (教務主任)

○会 計 鈴木 泉 (3-3 悠大)

武田美奈子 (学校事務)

役員の皆様には、今年度1年間色々とお世話になります。公私ともにお忙しくなるうかと思いますが、お力をお貸しください。また他の保護者の皆様にもご協力・ご支援をよろしく願いいたします。

※ 保護者会総会で話をしました、放射線対応について

このことについて、郡山市教委より別紙(両面印刷)「保護者の皆様へ(文部科学省)」及び「環境放射線モニタリングに基づく教育活動について(郡山市教育委員会:4月26日付)」通知がありましたので、説明をします。

4月8日(金)の新聞でご承知の通り、本校では4月6日県測定の校庭中央の数値が、**地面1 m 2.9 μ Sv/h 地面1 cm 3.8 μ Sv/h**でありました。

その後、モニタリング校には該当していませんでしたが、昨日の校長会で、「生徒の安全を最優先に考え、少しでも放射線リスクを少なくしたい。そのために、薫小学校とその周辺の学校及び比較的高い数値が出た学校(3.8)については、校庭の表土を除去後、数値が下がるまで校庭での活動を自粛する。」という市教委の指導方針が出されました。(本日26日の福島民友新聞には、本校も含め該当校が記載されました。)

4月25日、簡易放射線測定器(文部科学省より貸与)で、本校校庭中央を測定したところ**地面1 m 2.02 μ Sv/h 地面1 cm 2.27 μ Sv/h**と数値は低下していますが、本校では、生徒の健康被害が少しでも少なくなれば大変ありがたいことと受け止め、できるだけ早い時期に除去作業に入ってくれるようお願いしたいと考えております。(今後、毎日、午前と午後の2回測定し推移を見ていきます。)

また、家庭訪問中に残った教職員で、校舎の窓や外壁・犬走りや舗装された部分の水道水による洗浄作業をして、安全を図ってまいります。

校長会の折、「校庭が使えない期間、他地区の数値の低いところでの練習試合等については今まで通り。」という回答を得ましたので、特に、野球部・サッカー部については、相手校の環境状況を把握した上、保護者の方々の負担過剰にならないようご理解を得ながら進めて参りたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。